

令和三年度 奈良県知事賞

税金が世界を救う？

育英西高等学校 二年 濱 ことの

「税金」そう聞いた時、我々が持つ印象は何だろう。日本の国民の中には余り良い印象を持たない人もいないのではないかと私は思う。それは、私達の生活や暮らしに実際に関わり、使用されている場面を直接目にする機会が少ないことが一つの大きな要因だろう。しかし、驚くことに税金は私達の「健康や安全」に密接に結び付いているのだ。税金の具体的な用途を学ぶことで、私達の税金に対する感情は、これまでとは正反対のものとなるだろう。

私の住む地域は、高齢の方が年々増加しており、高齢化が目に見えて進んでいる様に思われる。その為、近年は日中だけでなく夜中にまで救急車のサイレンが鳴り響くことが増えてきた。その都度私は、皆が寝静まった夜中でも直ちに駆け付けてくれる救急隊員の方々を尊敬していた。他の国よりも少子高齢化が進む日本であるが、救命医療の観点から日本の状況を考えると、国民にとってとても充実した環境が整えられている様に思う。その理由の一つは、国民が納めた税金によって医療機関から救急車が無料で手配して貰えるからであると考えている。このような税金を使用することによって救急車が無料で手配される制度を採用している国は、現在、日本やイギリス等の数箇国だけだそうだ。また、他の国では保険や移動料金等を合わせると、救急車を呼ぶことに十数万円程かかることも珍しくない。この制度を今後も国民に進んで発信していくことで、より税金に対する国民の理解が広まっていくと私は思う。現在の日本ではコロナウィルスの影響で収入の減少も見られる為、以前より経済的に厳しい状況に置かれてしまう国民も多くなるだろう。そんな中でも、日本国民は税金が巡ることで経済的な面からもより良い環境を手に入れられるはずだ。

また、健康面でも税金は国民を守ることが出来る。皆さんは「たばこ税」という税金をご存知だろうか。これこそが、国民を守る第一歩に繋がるのではないかと私は考えている。それは、たばこ税が駅前や商店街などの公共機関での分煙環境を整備する為の費用として活用されていることにある。これにより、今後、日本で問題視されている喫煙問題がより明確に解決されていくことだろう。

また、税金はポストコロナの日本をも救うのではないかと私は思う。税金による立て直しの政策も考えていく必要があると私は思う。

税金は、使い道を具体的に理解していなければ、一見私達が支払うだけで少し損をしているように思われる。しかしこのように、税金は私達の生活を身近に支え、手助けをする重要な政策だ。税金が我々に与える良い影響を知ることによって、物事は見かけで判断するのではなく、その本質に迫ろうと自らが意識することが関わる中で何よりも重要であると改めて実感した。今回学んだ税金に対する知識を心に置いて、私も日本の国民の一人として、そして大人への第一歩として、今後も税金と関わりながら生活していこうと思う。